

ベクトル

福島県立葵高等学校

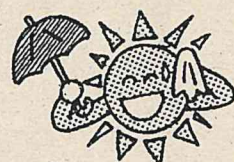
進路だより

2020年9月4日(金)発行

第5号

まだまだ残暑が厳しい中、2学期がスタート始まった。この進路だよりの4月号で、3年生は受験生に、2年生は葵高生に、1年生は高校生になろう、という話を載せた。今のみんなはそうになっているかな？まだなりきれていない人は、できるだけ早くその姿にたどり着くように学校生活に取り組もう。2学期はそれぞれの〇〇生としての生活を確立する時期であるからだ。

2学期は
始まってるよ!



入学者募集要項を手に入れよう

9月に入りいよいよ受験が始まる。基本的に出願手続きは自分でやる(共通テストの出願は学校で一括して行う)。そして総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)、一般選抜のどの場合においても、出願する際には入学者募集要項を各自が自分自身で準備することになる。ここで注意してほしいのは入学者選抜要項と入学者募集要項は別物ということ。出願するためには入学者募集要項が必要である。さらにその入学者募集要項は多くの大学で各大学のウェブサイト上に掲載し、個人でダウンロードし必要に応じてプリントアウトする。自分で動くことが大事です。

新型コロナウイルス感染症の影響による国公立大学出題範囲の変更などについて

- 【受験生を集めての学力検査をやめる】横浜国立大
 - 【発展的内容を出題しない】帯広畜産大、北見工業大、秋田大、茨城大、宇都宮大など
 - 【選択問題を設ける】室蘭工業大など
 - 【補足説明を書いて発展的内容を出題する】北海道大、弘前大、筑波大など
 - 【複数の配慮の組み合わせなど】東北大、山形大、福島大など
 - 【配慮はするが検討中】群馬大、琉球大など
 - 【出題範囲に変更なし】北海道教育大、岩手大、宮城教育大、新潟大、上越教育大など
- 各大学の対応についての具体的な情報は、それぞれの大学のホームページにアクセスして、各自が自分自身できちんと調べることが必要だ。(2020年7月31日現在)

教育実習生の話を聞く会

9月18日(金) 15:10~16:10 物理講義室



3年生はいよいよ受験生として本番を迎える

3年生は、進路を決定づける試験が始まる。旧AO入試である総合型選抜への出願を皮切りに、共通テストの出願は9月28日に始まる。学校推薦型選抜は11、12月に実施される。総合型選抜も学校推薦型選抜も一般選抜の準備、つまり日頃の勉強と同時進行で行うので、集中力のみならず体力も必要である。

受験は団体戦である。もちろん受験は、各自がそれぞれの目標に向かって努力するのだが、これから秋、冬へと移り行く季節の中で、気持ちがへこたれそうになる時が来る。そんな時、周りで必死に机に向かう友達の姿に、自分も頑張らなきゃ!と鼓舞される場面が必ずあるに違いない。そのためには3年生一人一人が、「最後まで、みんなで、強い気持ちで頑張り抜く」気持ちを持っていないと、そのような集団にはならない。総合型選抜や学校推薦型選抜でいち早く合格を勝ち取った者は、その後一般選抜に向けて頑張る友達と一緒に勉強する姿勢を見せてもらいたい。そのようにして受験生としての集団を形成していくことを願っている。

9月11、12日には、ベネッセ駿台共催マーク模試がある。6月マークに比べての伸び、本番での目標点との差を確認して、今後の各教科の学習につなげよう。

2年生は葵高生として成熟するとき

2年生の2学期は、学習において各教科の内容が濃く重みのあるものになってくる。かたや学校生活では、3年生からバトンを引き継いで、生徒会でも部活動でもリーダーになり、1年生を引っ張っていく立場になる。かなり充実した高校生活になるわけだ。そんな中で、家庭学習時間を確保するのは大変なことである。理想的な家庭学習はそう簡単に確立できないだろう。それでも試行錯誤を繰り返しながら学習に取り組み、自分に合った学習スタイルを確立してほしい。葵高生として成熟するときである。我武者羅にやってみよう!

9月5日に、希望者対象の河合塾の全統高2模試がある。進研模試より少しレベルの高い模試で、自分の全国での位置を確認しよう。3教科受験の模試はこれが最後。進路目標へ向けた学習が本気モードになることを願っている。

1年生は高校生としての日常生活を確立しよう

2学期が始まったが、日常生活のリズムは作れているだろうか。平日のリズムを作るには、実は土日の過ごし方が大事である。もちろん、平日の中で気をつけるべきことはあるが、せっかく5日間かけて確立しつつあるリズムを、土日の過ごし方ひとつで、振り出しに戻していないだろうか。起床時刻はできるだけ平日と同じ方がよい。そのためには週末(金曜と土曜の夜)夜遅くまで起きているような過ごし方はせず、むしろ早く寝て疲れをとろう。金曜日の夜から日曜の夕方までをどう過ごすかで、月曜日、1週間のスタートを心地よく切れるかどうか、ひいては1週間を快調に過ごせるかが決まる。本格的な秋の気配が漂う頃には日常のリズムが出来上がっていることを願っている。